

## 施策評価調書(23年度実績)

施策コード III-4-(2)

政策体系	施策名	地域生活交通システムの形成	所管部局名	土木建築部、企画振興部	長期総合計画頁	137
	政策名	交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進	関係部局名	土木建築部、企画振興部		

### 【I. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	地域の生活を支える道づくりの推進	都市圏域の交通円滑化の推進	地域公共交通の維持・充実

### 【II. 目標指標】

指標	関連する取組No.	基準値		23年度			24年度	27年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	各市町村の中心部まで概ね30分で到達できる地域(面積)の割合(%)	①	H16 74	76	76	100.0%	76	77						
ii	救命救急センターに概ね60分で到達できる地域(面積)の割合(%)	①	H16 64	77	77	100.0%	77	82						
iii	渋滞対策が必要な箇所数(箇所)	②	H16 22	8	8	100.0%	8	5						
iv	公共交通機関(バス)の利用者数(万人/年)	③	H16 2,178	1,990	1,988	99.9%	1990	1990						

### 【III. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i	達成 東九州自動車道や中九州横断道路などの道路整備により、隣接地域間の連携・交流を支える道路整備が進められている。	達成
ii	達成 東九州自動車道や中九州横断道路などの道路整備により、救命救急センターまでの時間が短縮される道路整備が進められている。	
iii	達成 三重高校入口交差点(豊後大野市)の渋滞対策として、県道三重新殿線バイパス工事に取り組んでおり、渋滞ポイントの解消が進められている。	
iv	概ね達成 地域における生活交通の確保を図るため、日常生活に欠かせない広域的・幹線的な民間路線バスや市町村が運行するコミュニティバス等に対して運行経費の助成を行うとともに、公共交通の利便性向上や利用促進施策に取り組んだ結果、利用者の減少を最小限に抑えることができた。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	・国道442号線合瀬工区(日田市中津江村)等の供用開始により、中心市街地までのアクセスの利便性が向上している。
②	・大分駅付近連続立体交差事業により、JR日豊本線中島踏切の高架化が完成し、渋滞が緩和されている。
③	・地域公共交通の維持・充実に向けた市町村職員研修会の開催や8市町と個別に意見交換を行うなど、市町村職員との連携強化に努めた。

【V. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト(千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 道路改良事業	—	213	4,613,957
	2 暮らしの道再生事業	見直し(24年度)事業内容の拡充	212	762,000
	3 (公)国直轄高速道路事業負担金	—	210	2,154,010
	4 (公)国直轄道路事業負担金	—	206	1,372,763
②	1 街路事業	—	209	3,324,274
	2 (公)連続立体交差事業	—	214	4,492,193
③	1 地方バス路線維持対策費	見直し(24年度)事業内容の変更	—	112,773
	2 生活交通路線支援事業	見直し(24年度)事業内容の変更	27	92,195

【VI. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.①～③の全てにおいて、順調に進んでいる。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新たな渋滞解消プログラム」に基づく渋滞ポイントの解消</li> <li>・庄の原佐野線をはじめとした都市計画道路の次年度以降の予算確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通運行経費補助の増大ペースを抑制しつつ、制度の安定的持続の継続</li> </ul>

【VII. 施策に対する意見・提言】

4-

<ul style="list-style-type: none"> <li>○「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(H24.7)</li> <li>・山間部の産業的道路でも夜間は先が見えなく危険箇所が多い。生活者目線での対応をしてもらいたい。</li> </ul>	
---	--

【VIII. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧町村部と中心部を結ぶ道路整備や都市部の交通渋滞緩和に向けた道路整備など、各地域の生活道路の整備推進に取り組む。</li> <li>・路線バス等の運行内容の継続的な改善と利用促進に取り組むことにより、地域における公共交通の維持確保に努める。</li> </ul>